



## 2008年3月期 決算説明会

2008年5月13日

2008年5月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。  
© 2008 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1 . 2008年3月期 決算

- (1) 連結の範囲及び持分法適用関連会社
- (2) 連結業績
- (3) 主要経営指標
- (4) 株主の状況

2 . 2009年3月期 連結業績見通し

- (1) 2008年3月期 総括
- (2) 課題と短期計画方針
- (3) 新たな事業推進体制
- (4) 業績見通し

事業/Topicsのご紹介

消費者向けビジネスへの取り組み  
新たな事業への取り組み  
オフィス移転について

ネットビジネス事業の展望  
バイオマーカー実用化プロジェクト

インフォコムグループ基礎情報

セグメント構成  
セグメント別事業の概要  
沿革、当社グループの通期及び四半期業績の特性

事業推進体制、所在地  
对外発表index

グループ構成  
会社の概要、社名の由来  
連結財務データ5ヵ年(通期)

# 2008年3月期 決算

# 1. 2008年3月期 決算

## (1) 連結の範囲及び持分法適用関連会社

2007年3月末

資本参加によるグループ業容の拡大/再編

2008年3月末

国内7社、海外3社、持分1社、1LLP  
計12社

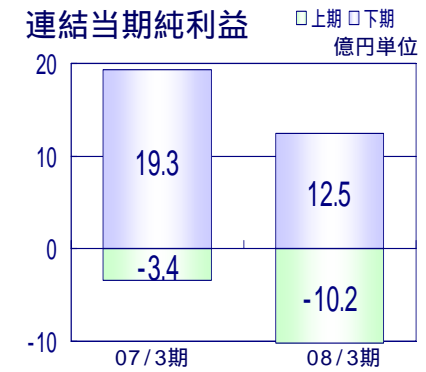
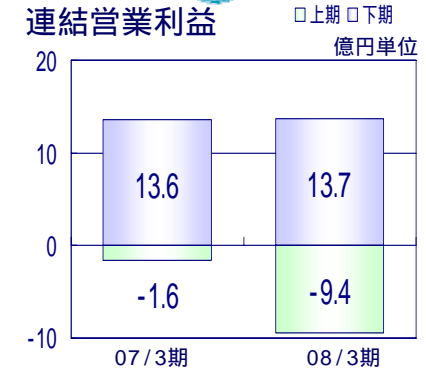
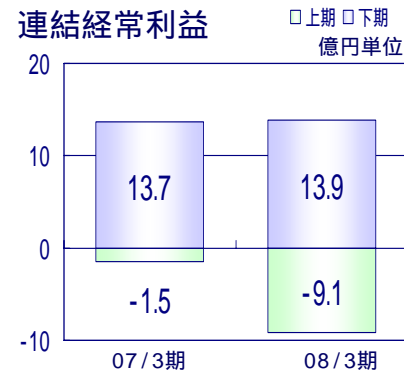
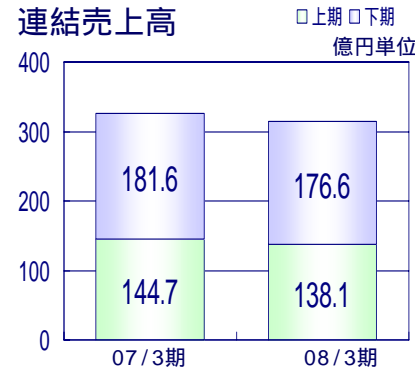
国内7社、海外2社、持分1社、1LLP  
計11社

ソリューション	(株)インフォコム西日本	グループ経営効率の向上を主目的に、2007年4月(株)インフォコム西日本と統合	ソリューション	連結	(株)インフォコム西日本
	(株)インフォコム四国			連結	インフォベック(株)
	インフォベック(株)	グループ経営効率向上を主目的に、完全子会社化後、各事業をインフォコム、ログイット、インフォコムサービスに再編		連結	イメージシティ(株)
	イメージシティ(株)			連結	ログイット(株)
	ログイット(株)			連結	ホワイトパジャマ・ジャパン(株)
	ホワイトパジャマ・ジャパン(株)				
サービス	インフォコムサービス(株)	2008年1月、eコマース事業の拡大を加速する事を主目的に、子会社化	サービス	連結	インフォコムサービス(株)
	SYSCOM(USA) Inc.			連結	SYSCOM(USA) Inc.
	(株)ドゥマン			持分	(株)ドゥマン
			連結	(株)イー・ビー・エス (EBS社)	
フロンティア	Infocom America Inc.	ケム&バイオインフォマティクス事業における選択と集中化を図るため、解散及び清算	フロンティア	連結	Infocom America Inc.
	フローラインフォマティクス			LLP	フローラインフォマティクス
	Lighthouse Data Solutions,LLC.				

# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 前期との対比による概況

	07/3期 (前期)	08/3期	増減	
			金額	率
売上高	326.3	314.7	11.6	3.6%
営業利益	12.0	4.3	7.6	63.3%
営業外損益	0.2	0.4	0.2	
経常利益	12.2	4.7	7.4	60.7%
特別損益	13.2	2.7	15.9	
当期純利益	15.9	2.2	13.6	85.5%



### 主要施策

グループ経営の効率化促進  
子会社再編

ネットビジネス事業拡大基盤の確立  
EBS社のグループ化

データセンター・サービス事業拡大  
センター近代化  
他社との提携、協業

当期業績に影響を与えた事業環境の変化  
大規模ソリューション案件におけるプロジェクトリスクの顕在化  
・不採算案件の発生、期末案件の期スレ

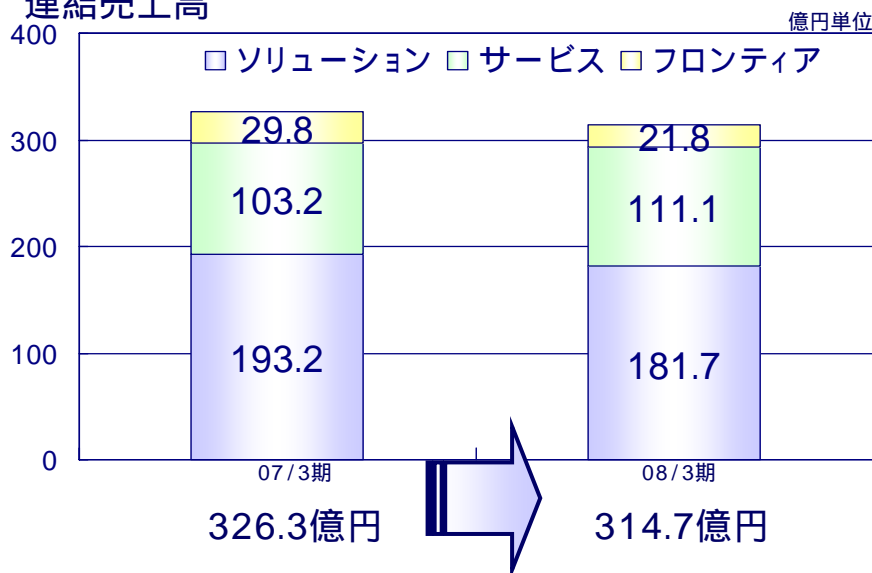
内部統制強化コースの進展  
・要件追加、検収期間の長期化

経済状況の激変  
・為替のドル安、サブプライムローン、原油高騰

# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 前期との対比による売上高と営業利益の概況

### 連結売上高

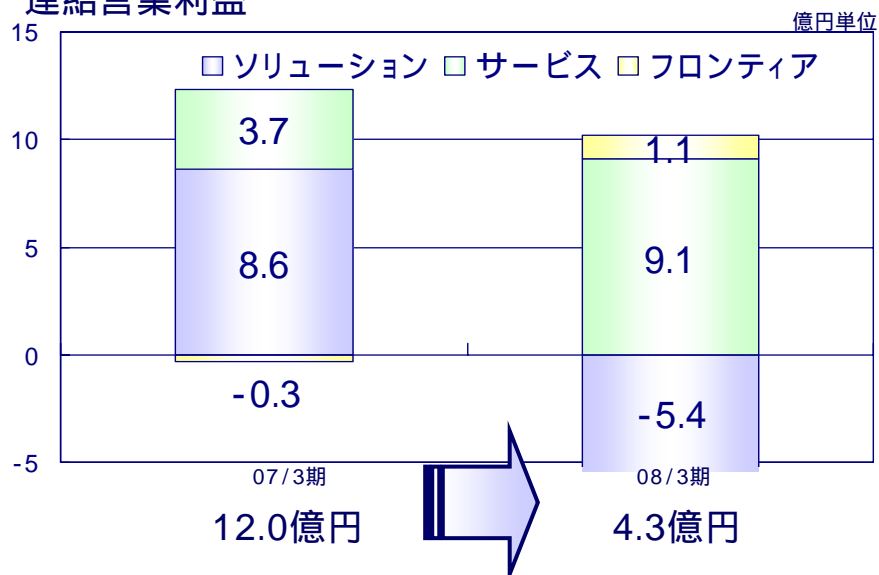


### 前期対比による主たる増減要因

億円単位

11	・医療機関向け案件の受注遅延	7
	・大型システム開発案件で生じた不具合の影響による失注	4
	・GRANDIT案件大型化による新規案件着手時期遅延	1
+7	・携帯電話向け電子書籍配信成長	+5
	・データセンター・サービス事業堅調	+3
8	・電子図書館システム及び特許システムの開発に注力	8

### 連結営業利益



### 前期対比による主たる増減要因

億円単位

	・大口顧客向け案件での大幅なコスト増	3
	・医療機関向け案件の受注遅延	2
14	・大型システム開発案件で生じた不具合の対応による	4
	・GRANDIT案件大型化によるコストの増加、新規案件着手時期遅延	4
+5	・コンサート等チケット取扱事業の撤退による収益性改善	+1
	・(株)ニクス・サービス・センター全株式譲渡による営業損失負担減少	+2
	・海外拠点データセンター・サービス事業体質改善	+3
+1	・事業構造改革	+1

# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 前期との対比による当期純利益の概況

	2007年3月期	2008年3月期	前期差異	PLへの影響	備考
経常利益	12.2	4.7	7.4	7.4	
収用による土地売却益	2.3				
収用による移転補償収入	25.5				
本社等移転補償収入		9.8			
その他		0.2			
特別利益 計	27.8	10.0	17.8	17.8	
固定資産除却損	0.7	0.8			
減損損失	0.6	3.5			イメージシティ社のれん、チケット
投資有価証券売却損	1.6	0			
投資有価証券評価損	2.1	0			
固定資産臨時償却費		2.5			イメージシティ社エマージェンシーコール事業関連
損害補償損失		3.2			大型SI案件の不具合に伴う損害賠償金
本社等移転費用引当金繰入額		2.5			
収用による固定資産臨時償却費	3.1				
収用による固定資産取壊費用	2.0				
関係会社清算損	4.2				ケム&バイオインフォマティクス事業関連
その他	0.1				
特別損失 計	14.6	12.7	1.8	+ 1.8	
法人税、住民税及び事業税	9.6	8.0	1.6	+ 1.6	
法人税等調整額	4.0	8.0	12.1	+ 12.1	
少数株主損失	4.1	0.1	4.0	4.0	
当期純利益	15.9	2.2	13.6	13.6	

# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 前期との対比による投資実績と研究開発

億円単位

		2007年3月期	2008年3月期	備考
資本投資	イメージシティ社株式追加取得	1.0	0.2	
	ドゥマン社第三者割当増資	0.5		
	その他	0.2	0.2	
計		1.7	0.4	連結消去相当分 ・EBS社株式取得(1.5) ・イメージシティ社増資(1.0)

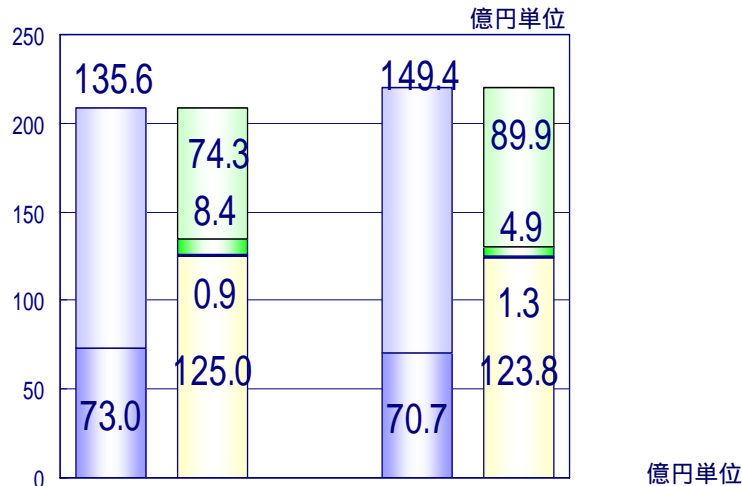
設備投資	新横浜データセンター設備増強第1ステップ	1.0	0.8	
	コンタクトセンターASPサービス設備投資		0.4	
	パソコン等、その他	1.5	0.9	
計		2.5	2.1	

研究開発	ERPパッケージソフトウェア「GRANDIT」機能強化	3.6	3.8	
	「GRANDIT」の自社導入		1.7	
	緊急通報 / 安否確認システムの機能強化	4.0	1.6	
	ヘルスケア事業パッケージの機能強化	0.8	1.4	
	図書館業務システムの開発		0.8	
	知的財産システム製品再構築	0.1	0.7	
	コーポレート研究、その他	2.9	4.2	
計		11.5	14.2	



# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 貸借対照表



	2007年3月末	2008年3月末	前期差異
流動資産	135.6	149.4	+ 13.8
固定資産	73.0	70.7	2.3
資産計	208.6	220.1	+ 11.4
流動負債	74.3	89.9	+ 15.6
固定負債	8.4	4.9	3.4
負債計	82.7	94.9	+ 12.1
少数株主持分	0.9	1.3	+ 0.4
純資産-少数株主持分	125.0	123.8	1.2
自己資本比率	59.9%	56.2%	3.7%

### 前期末との主たる増減要因

億円単位

流動資産(+ 13.8)	
・移転補償収入等による未収入金の増加	+8.9
固定資産( 2.3)	
・自社開発パッケージ・ソフトウェアの増加	+1.3
・償却、減損等によるのれん代の減少	5.6
・長期差入保証金の増加	+2.7
・収用補償金の入金	5.2
流動負債(+ 15.6)	
・預り金の増加	+11.6
・本社等移転費用引当金等	+2.6
固定負債( 3.4)	
・連結子会社による長期借入金返済	1.4

# 1. 2008年3月期 決算

## (2) 連結業績 キャッシュフロー

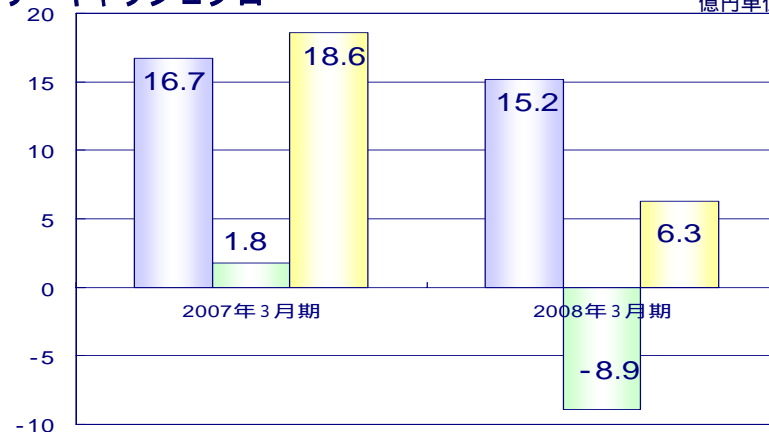
億円単位

	2007年 3月期	2008年 3月期	増減
営業キャッシュフロー	16.7	15.2	1.5
投資キャッシュフロー	1.8	8.9	10.8
フリーキャッシュフロー	18.6	6.3	12.3
財務キャッシュフロー	2.6	3.3	0.6

現金及び現金同等物に係わる換算差額等	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	16.0	3.0	13.0
現金及び現金同等物の期首残高	13.4	29.5	16.0
現金及び現金同等物の期末残高	29.5	32.5	+ 3.0

### フリーキャッシュフロー

□ 営業 □ 投資 □ FCF  
億円単位



### キャッシュフローの概況

億円単位

営業キャッシュフロー (15.2)	
・税引前当期純利益(経常利益4.8、特別損益 2.7)	+ 2.1
・減価償却/のれん償却相当	+ 13.4
・売上債権及び仕入債務の減少による営業CF増	+ 0.8
・預り金の増加	+ 11.3
・法人税等の支払	8.0
・その他算出上の調整	4.2

投資キャッシュフロー ( 8.9)	
・収用補償金の収入(7.9)、土地売却による収入(1.0)	+ 8.9
・設備投資の支出( 15.4)、差入保証金の支出( 2.9)	18.3
設備投資 15.4に研究開発 13.3含む	

フリーキャッシュフローは、前述概況より + 6.3

財務キャッシュフロー ( 3.3)	
・子会社の外部借入金の返済	1.7
・配当金	2.3

キャッシュ期末残高は、増加(前期比+3.0)

# 1. 2008年3月期 決算

## (3) 主要経営指標

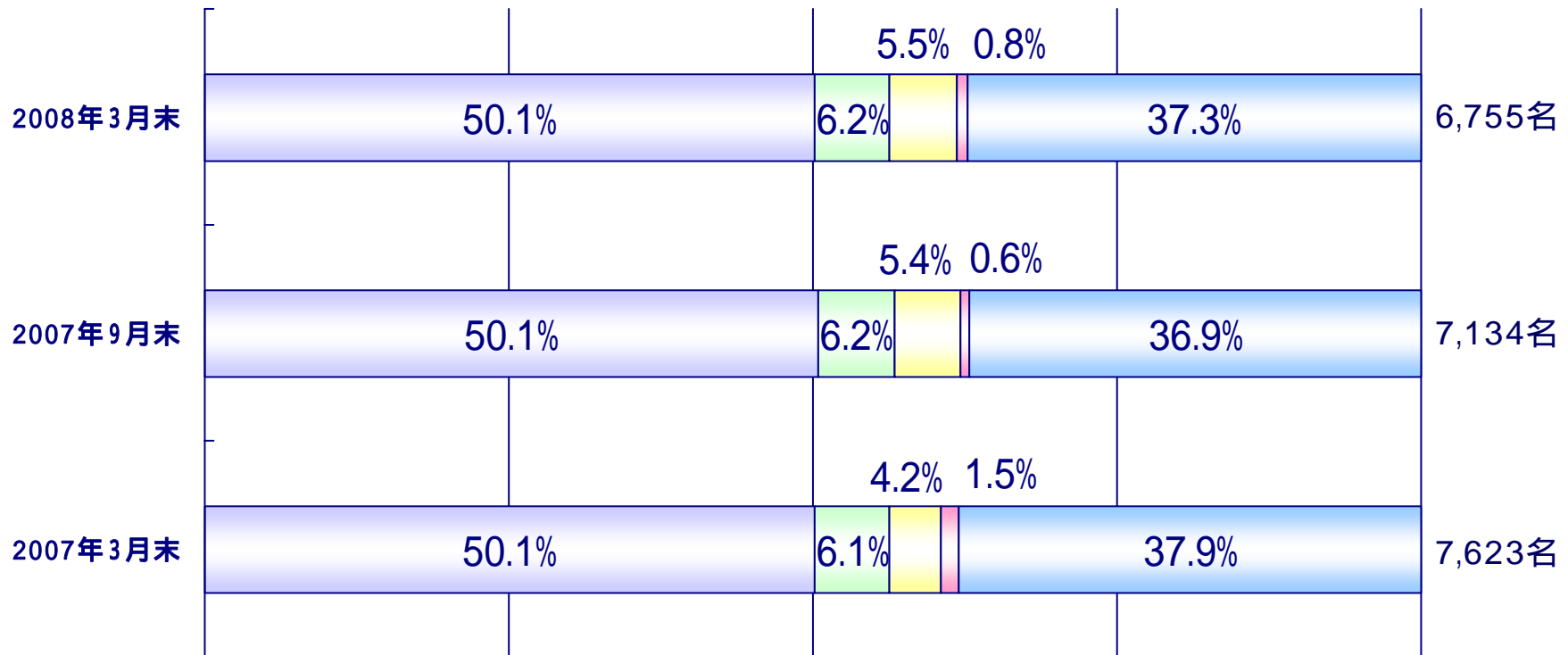
	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
売上高成長率 (%)	4.9	3.9	3.0	5.0	4.1	3.6
営業利益率 (%)	8.7	9.0	6.8	4.7	3.7	1.4
一人当たり売上高 (百万円)	40	40	36	28	29	26
一人当たり営業利益 (百万円)	3	3	2	1	1	0.3
株主資本当期純利益率 (ROE) (%)	20.5	17.9	9.3	4.9	13.5	1.8
総資本当期純利益率 (ROA) (%)	10.4	9.7	5.2	2.8	8.0	1.1
総資本営業利益率 (ROA) (%)	18.3	17.7	12.0	7.8	6.0	2.0
1株あたり当期純利益 (円) (04/3期72,000株、以降144,000株)	21,697	22,450	6,585	3,635	11,084	1,588
配当性向 (%)	9.2	9.8	18.2	33.0	14.4	100.7

2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。当資料では、2006年3月期以降の売上計上基準を使用し、各種数値を算出しています。

# 1. 2008年3月期 決算

## (4) 株主の状況

□ 帝人 □ 国内法人 □ 信託・生保・証金 □ 外国法人 □ 個人



### 関連する会社による保有状況

帝人株式会社	72,200株	50.13%
双日株式会社	7,200株	5.00%

2009年3月期  
連結業績見通し

## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (1) 2008年3月期 総括

### 2008年3月期 短期計画方針

#### 1. 3ヵ年経営計画

##### 「新成長事業を中核とした成長戦略」の変更

##### (1) 成長を牽引する事業

GRANDIT・ECM、ヘルスケア、データセンター

##### (2) 再構築を行う事業

モバイル、ネットビジネス、フロンティア

2005年6月に公表した3ヵ年経営計画「新成長事業」は、GRANDIT、携帯電話ポータル、フロンティア

#### 2. 事業基盤の再構築

##### (1) 製品、SI、サービスの品質管理体制の見直し

##### (2) コンプライアンス体制の維持・強化

##### (3) グループ会社の経営体制強化

イメージシティ社、SYSCOM(USA)、インフォバック社

#### 3. 飛躍的成長

##### (1) 包括的業務提携の検討

### 2008年3月期 期末における状況

#### 1. 事業戦略の変更

##### 「新成長事業を中核とした成長戦略」の変更

##### (1) 経営資源の重点投入、収益性向上施策を実施

案件規模の大型化、要件追加等によるプロジェクトの長期化、コスト増加、伴う新規案件着手開始時期や受注活動の遅延

内部統制機能強化等に対応する大規模医療機関のIT投資は、検収期間が長期化するとともに一服感

##### (2) 事業基盤の再構築については着実に進捗

電子書籍の成長とEBS社のグループ化により、コンテンツ配信/eコマース事業を展開するネットビジネス事業は着実に進展

フロンティア事業の事業構造改革は進み、黒字化達成

#### 2. 事業基盤の再構築

##### (1) 期中にGRANDIT事業を中心とした体制の見直しを実施

上期業績に与えた影響を挽回するに至らず、下期には他の事業領域でも要件追加等による大幅なコスト増加を伴うプロジェクトが発生

##### (2) コンプライアンス体制の維持・強化は計画通り

##### (3) グループ経営の効率化、体質改善/強化を着手

イメージシティ社は、完全子会社化及び事業再編を実施

SYSCOM(USA)は、体質改善が進展

インフォバック社は、経営資源の投入による体制強化を実施

#### 3. 飛躍的成長

##### (1) 検討継続中

## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (2) 課題と短期計画方針

### 2008年3月期業績に影響を与えた課題

#### 1. ソリューション事業で生じた大幅な減収減益

- ・案件の大型化、複雑化、長期化に伴う費用増加
- ・内部統制強化による検収遅延、アフターコスト増

#### 2. 事業規模の拡大が未実現

### 2009年3月期の短期計画方針

#### 【事業基盤の一層の強化と成長の実現に注力】

#### 1. 事業基盤の一層の強化

##### (1) ソリューション事業の収益力強化

- ・ソリューション事業組織改編
- ・プロジェクトマネジメント体制の重点強化

##### (2) ソフトウェアサービス事業の育成

- ・SaaSに代表されるソフトウェアサービス事業に  
旧フロンティア事業、ECM事業、イメージンシコール等

#### 2. 成長の実現

##### (1) ソリューション・セグメント

- ・製商品ラインアップの充実化、販売チャネルの拡充

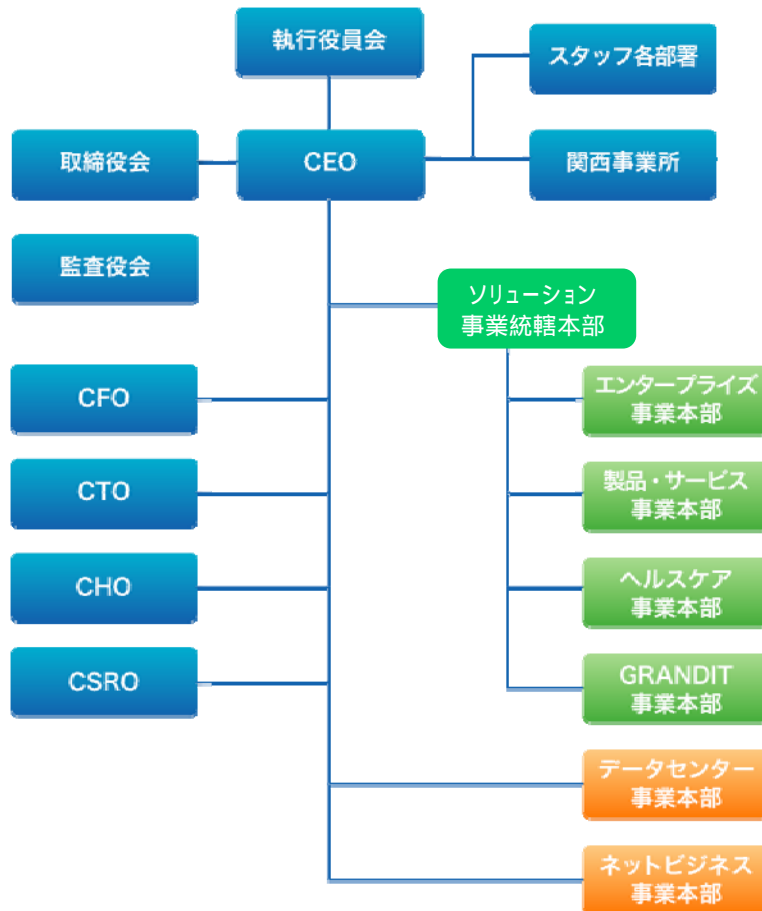
##### (2) サービス・セグメント

- ・データセンター・サービス事業の拡大と近代化投資

- ・ネットビジネス事業の再構築完了し、事業規模の拡大へ

##### (3) M&Aの積極的検討

## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (3) 新たな事業推進体制



### 組織改正のポイント

1. ソリューション関連事業を4事業本部に集約・再編  
 ・「ソリューション・セグメント」に属する各事業、及び「フロンティア・セグメント」に属する各事業について、顧客対応力及び組織力強化を目的に再編

「大口顧客向け事業」	エンタープライズ事業本部
「パッケージ製品事業」	製品・サービス事業本部
「ヘルスケア事業」	ヘルスケア事業本部 (変更無し)
「GRANDIT事業」	GRANDIT事業本部

### 2. ソリューション事業統轄本部を設置

・プロジェクト管理機能、マーケティング機能、提案力、技術力の強化を迅速かつ一体となって推進

### 3. Chief Officer変更

・CRO CSRO (Chief Social Responsibility Officer)  
 ・COO廃止 (ソリューション統括本部長設置)

ご参考：  
 CSRO (Chief Social Responsibility Officer)  
 インフォコムグループのCSR (Corporate Social Responsibility) 基本方針・目標・戦略の立案、ならびにグループCSRに関する全体統轄及び推進とコンプライアンス・リスクマネジメント、環境、安全、健康、社会貢献活動に関する基本方針や諸施策の立案・推進



## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (3) 新たな事業推進体制

2008年3月末  
国内7社、海外2社、持分1社、1LLP  
計11社

資本参加によるグループ業容の拡大/再編

2008年4月1日現在  
国内7社、海外2社、持分1社、1LLP  
計11社

ソリューション	(株)インフォコム西日本
	インフォベック(株)
	イメージシティ(株)
	ログイット(株)
	ホワイトパジャマ・ジャパン(株)

ソリューション	連結	(株)インフォコム西日本
	連結	インフォベック(株)
	連結	イメージシティ(株)
	連結	ログイット(株)
	連結	ホワイトパジャマ・ジャパン(株)
	LLP	フローラインフォーマティクス

サービス	インフォコムサービス(株)
	SYSCOM(USA) Inc.
	(株)ドゥマン
	(株)イー・ビー・エス

サービス	連結	インフォコムサービス(株)
	連結	SYSCOM(USA) Inc.
	持分	(株)ドゥマン
	連結	(株)イー・ビー・エス

フロアティア	Infocom America Inc.
	フローラインフォーマティクス

スタッフ	連結	Infocom America Inc.
------	----	----------------------

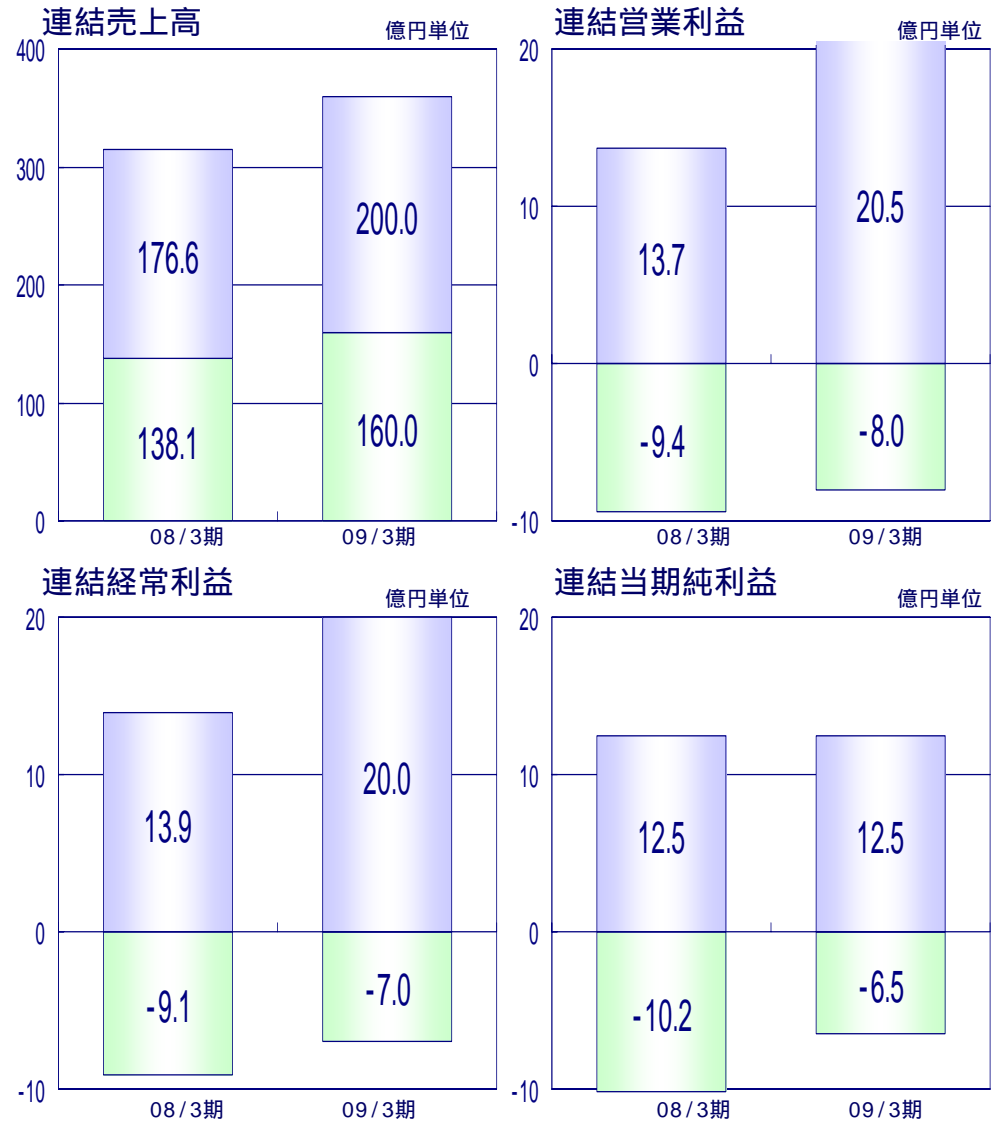
2008年4月組織改正に伴い、ソリューション・セグメントに移動

## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (4) 業績見通し

億円単位

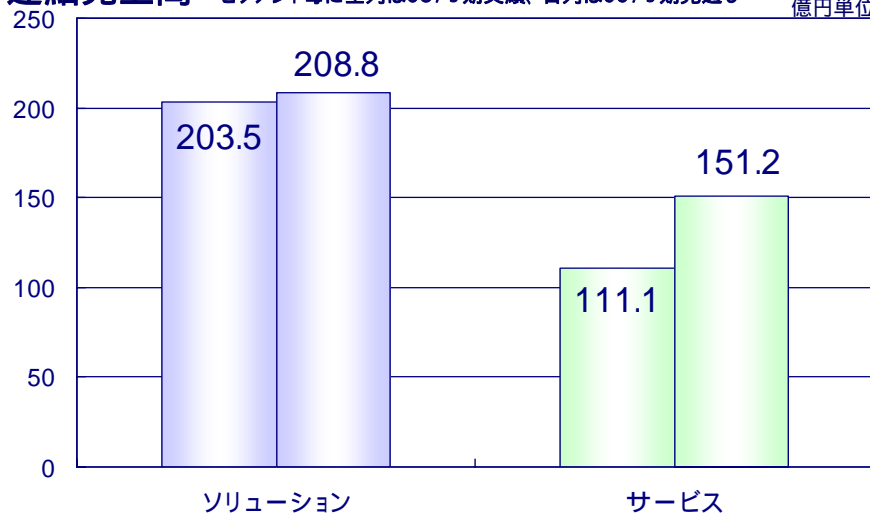
	08/3期	09/3期	増減金額
売上高	314.7	360.0	+ 45.3
営業利益	4.3	12.5	+ 8.2
経常利益	4.7	13.0	+ 8.3
特別損益	2.7	-	-
当期純利益	2.2	6.0	+ 3.8

売上高成長率 (対前期比)	3.6%	+ 14.4%
ROE	1.8%	4.7%
ROA (当期純利益使用)	1.1%	2.6%
ROA (営業利益使用)	2.0%	5.4%



## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (4) 業績見通し

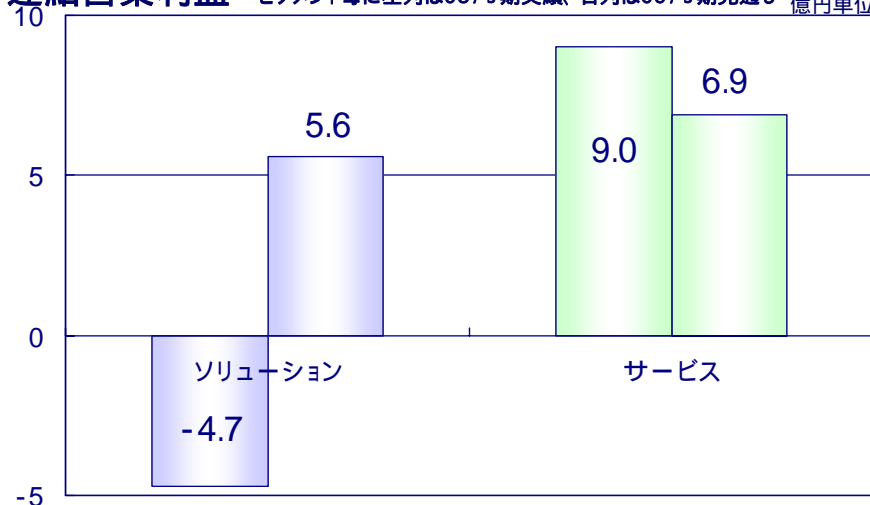
連結売上高 セグメント毎に左列は08/3期実績、右列は09/3期見通し 億円単位



ソリューション・セグメント  
収益性改善に注力、事業拡大基盤の確立を優先

サービス・セグメント  
EBS社の連結効果  
データセンター・サービス事業の拡大

連結営業利益 セグメント毎に左列は08/3期実績、右列は09/3期見通し 億円単位



ソリューション・セグメント  
収益性改善対策による  
赤字プロジェクトの削減  
利益率の向上

サービス・セグメント  
データセンター・サービス事業拡大に伴う先行費用拡大  
データセンター近代化に伴う償却費増

M & Aの積極的検討については、業績見通しに織り込んでいない

## 2. 2009年3月期 連結業績見通し (4) 業績見通し 投資計画

億円単位

		2008年3月期	2009年3月期	備考
資本投資	イメージシティ社株式追加取得	0.2		
	その他	0.2		
計		0.4	0	連結消去相当分 ・イー・ビー・エス社株式取得(1.5) ・イメージシティ社増資(1.0)

設備投資	新横浜データセンター設備増強第1ステップ	0.8	14.9	
	新横浜データセンター新棟建設第1ステップ		4.0	
	オフィス移転に伴う設備投資		13.8	
	コンタクトセンターASPサービス設備投資	0.4		
	パソコン等、その他	0.9	1.0	
計		2.1	33.7	

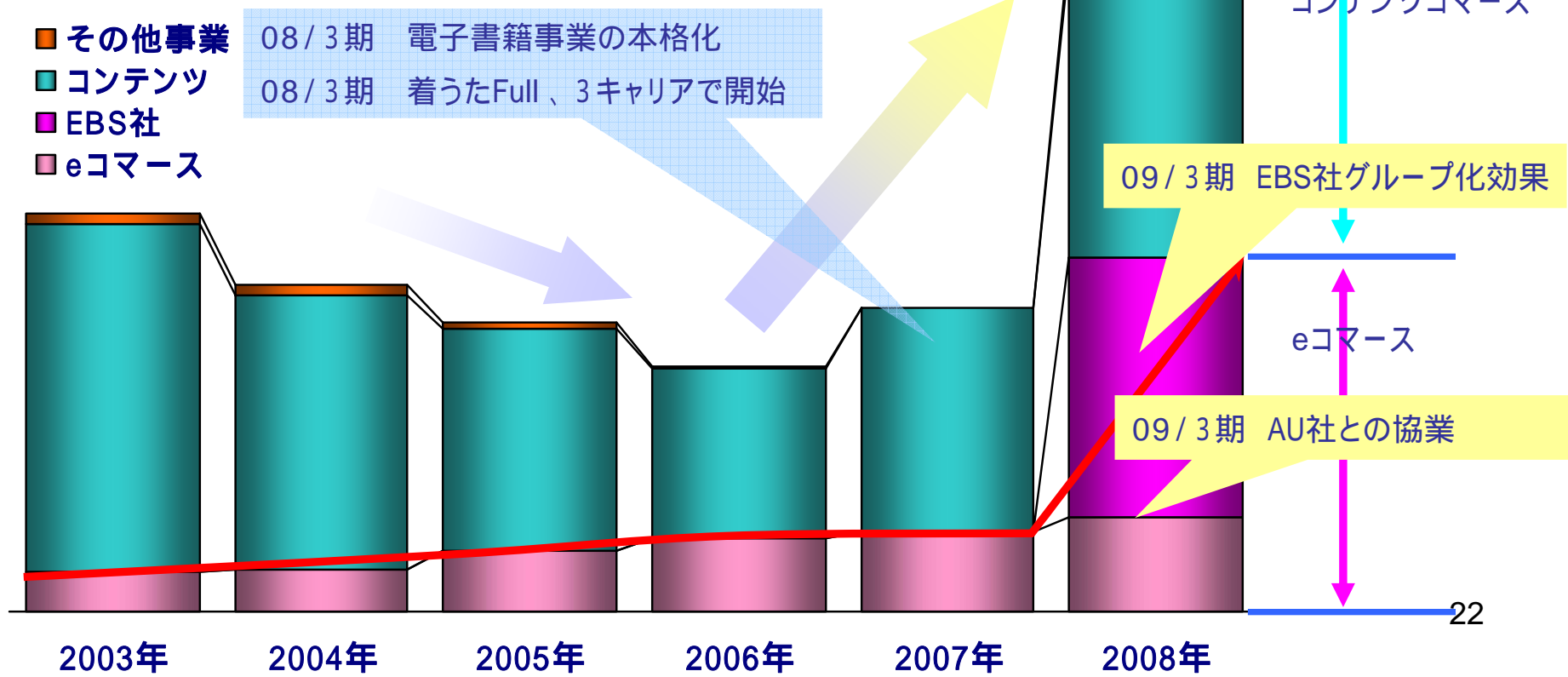
研究開発	ERPパッケージソフトウェア「GRANDIT」機能強化	3.8	4.3	
	ネットビジネス事業関連インフラ再構築	0.5	3.6	
	「GRANDIT」の自社導入	1.7	0.6	
	緊急通報/安否確認システムの機能強化	1.6	0.3	
	ヘルスケア事業パッケージの機能強化	1.4	3.3	
	図書館業務システムの開発	0.8	0.5	
	知的財産システム製品再構築	0.7	0.9	
	コーポレート研究、その他	3.7	1.7	
計		14.2	15.4	

## 事業 / Topicsのご紹介

# 消費者向けビジネスへの取り組み ネットビジネス事業の展望

2006年度の売上・営業利益を底とする  
turn aroundを実現  
着メロ依存体質からの脱却  
コンテンツとeコマースの2本柱  
(めっちゃうたフル、電子書籍)

EBS社グループ化によるeコマース事業の拡大  
・CD/DVD販売事業スターレコードと  
EBS社Au Recordsとの事業シナジー  
・Fashionビジネス(アパレル通販)への参入  
Auとの協業  
・Au Recordsに加え、Au Booksをスタート  
・Au Games検討中

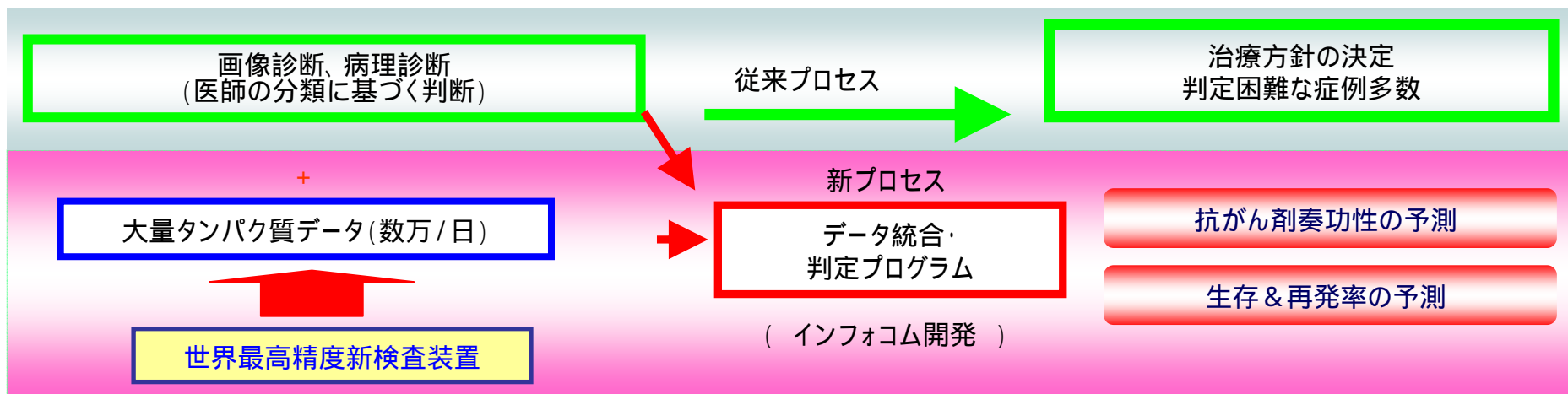


# 新たな事業への取り組み バイオマーカー実用化プロジェクト

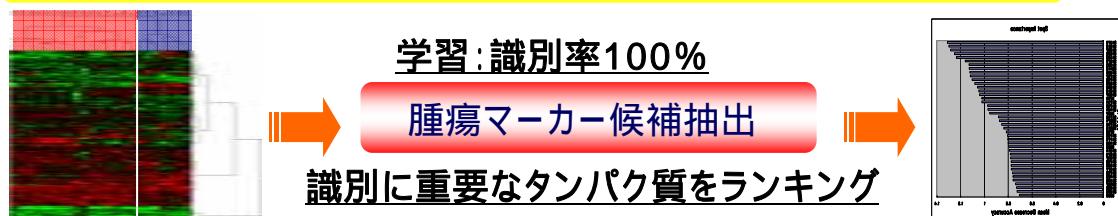
ITを駆使した大量データ解析によって術後再発・予後予測の新規診断マーカーを発見

複数の悪性腫瘍に関して

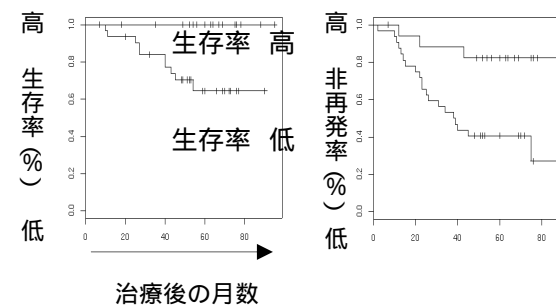
国立がんセンターと共同研究推進中  
ライセンスビジネス展開を図る



良性・悪性形質の特徴を計算機に学習させ



生存 & 再発率の予測に成功



がんマーカーの可能性

- ・術後の予後予測結果により**抗がん剤治療の方針決定の材料になる**
- ・血清マーカーであれば、術前に予後予測が可能となり、縮小術も期待される
- ・悪性度に関連することが期待され、機能的な解明も期待でき**創薬ターゲット**となりうる

## 本社移転について



### 事由

家主の事由によるビルの建て替えが予定され、伴い当該ビルからの退去及び移転の要請を受けており、6月末の移転を予定。

### 予定移転先

東京都渋谷区神宮前二丁目34番17号 住友不動産原宿ビル  
約1,500坪(現 約1,800坪)



## 業績見通し等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料に記載されている業績見通しは、平成20年4月30日に公表した弊社の「平成20年3月期 決算短信」に関する発表に基づくものです。

本資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

# インフォコムグループ 基礎情報

# インフォコムグループのセグメント構成

当社の2つのセグメントで展開される多彩なソリューションやサービス。  
インフォコムグループはITの進化を通じて、社会のイノベーションに貢献します。



## ソリューション・セグメント

大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、医薬医療機関や文教、知的財産や特許等の分野に特化した自社開発パッケージ製品を提供しています。  
また、様々な法人に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」、情報資産の高度活用に対応するデジタルコンテンツ管理ソリューション等も提供しています。

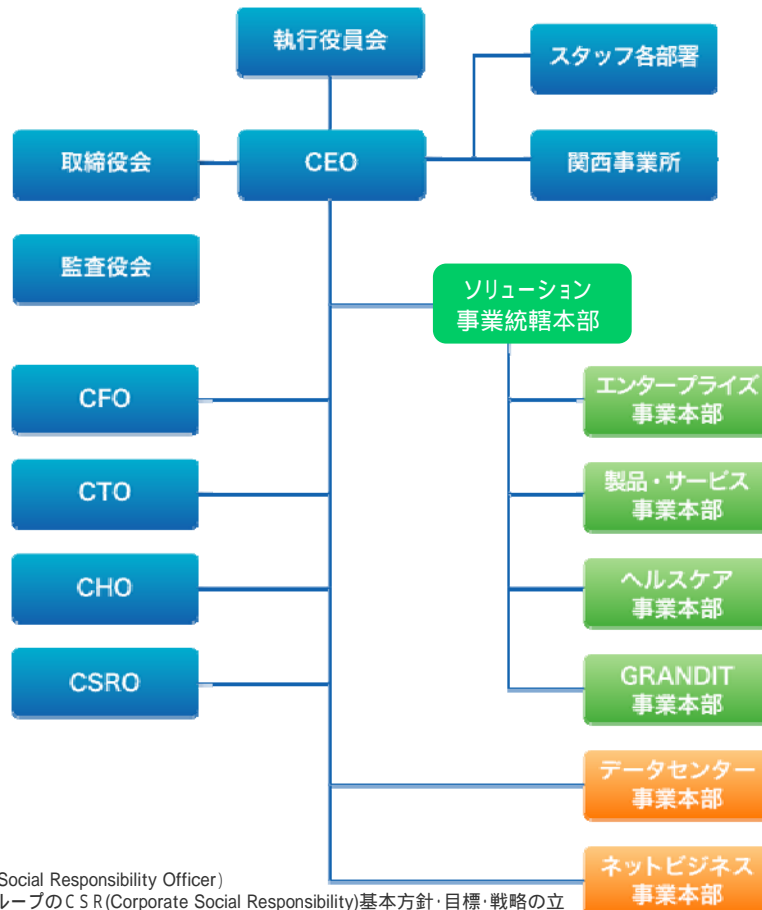


## サービス・セグメント

ディザスター・リカバリー機能の充実化を支援する、自社保有のデータセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンター・サービス「エクステーション」の提供のほか、携帯電話やPC利用者向けには、着信メロディや着うたフル®, 携帯コミックス等のコンテンツ配信、CD/DVDやアパレル、スイーツ等を販売するeコマースサイトを展開しています。

# 事業推進体制、事業所所在地

## 事業推進体制



ご参考:  
 CSRO (Chief Social Responsibility Officer)  
 インフォコムグループのCSR(Corporate Social Responsibility)基本方針・目標・戦略の立案、ならびにグループCSRに関する全体統轄及び推進とコンプライアンス・リスクマネジメント、環境、安全、健康、社会貢献活動に関する基本方針や諸施策の立案・推進

## ■ 事業所所在地

- 本社**  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館  
 TEL.03-3518-3000
- 関西事業所**  
 〒541-8587 大阪府大阪市中央区南本町1-6-7 帝人ビル  
 TEL.06-6268-3300
- 新横浜事業所**  
 神奈川県横浜市  
 TEL.045-476-7003
- 霞ヶ関オフィス**  
 〒100-8585 東京都千代田区霞ヶ関3-2-1 霞が関コモンゲート西館  
 TEL.03-3506-4415
- 赤坂オフィス**  
 〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館  
 TEL.03-5520-4878
- 晴花ビルオフィス**  
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12 晴花ビル  
 TEL.03-3518-3270
- 淀屋橋オフィス**  
 〒541-8558 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋  
 TEL.06-6209-3170
- 西本町オフィス**  
 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-3-15 JEI 西本町ビルディング  
 TEL.06-6110-8984
- 岡山ポータルオフィス**  
 〒700-0904 岡山県岡山市柳町1-1-1 住友生命岡山ビル  
 TEL.086-225-2170
- 福岡オフィス**  
 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多借成ビル  
 TEL.092-433-3421
- ニューヨーク・オフィス**  
 One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006  
 TEL.212-607-4893

# インフォコムグループの構成



国内9社、海外2社、LLP1組合で構成するインフォコムグループは、大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、医薬医療機関や文教、知的財産や特許等の分野に特化した自社開発パッケージ製品を提供しています。また、様々な法人に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」、情報資産の高度活用に対応するデジタルコンテンツ管理ソリューション、デザイナー・リカバリー機能の充実化を支援するデータセンター・サービス等も提供しています。携帯電話やPC利用者向けには、着信メロディや着うたフル®、携帯コミックス等のコンテンツ配信、CD/DVDやアパレル、スイーツ等を販売するeコマースサイトの運営等、ソリューションとサービスをあわせて提供するユニークな特長が強みとなっています。

## インフォコム(株) <http://www.infocom.co.jp/>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館  
TEL.03-3518-3000 FAX.03-3518-3900

ITソリューションの提供 ITサービスの提供

## Infocom America Inc

One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006  
TEL . 212-607-4893 FAX . 212-607-4894

市場調査、情報収集

## ソリューション

### (株)インフォコム西日本 <http://www.infocom-west.co.jp/>

〒754-0034 山口県周南市御幸通1-1  
TEL.0834-27-3950 FAX.0834-27-3951

ソフトウェアの開発

### インフォベック(株) <http://www.infovec.co.jp/>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館  
TEL.03-3518-3910 FAX.03-3518-3920

完全Web-ERPの開発・販売

### イメージシティ(株) <http://www.imagecity.jp/>

〒110-0008 東京都台東区池之端1-2-18 MG池之端ビル  
TEL . 03-5832-5400 FAX .03-5832-5401

金融情報配信サービス、ソフトウェアの開発、SIサービス

### ログジット(株) <http://www.logit.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-25-15 south新大塚ビル  
TEL . 03-5981-1531 FAX .03-5981-1537

音声録音システム等の販売・開発

### ホワイトパジャマ・ジャパン(株) <http://www.whitepajama-japan.com/>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館  
TEL . 050-5530-8818 FAX .03-3295-5063

コンタクトセンターソリューションの提供

### フローラインフォーマティクス有限責任事業組合

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館  
TEL.03-3518-3870 FAX.03-3518-3960

腸内等の細菌プロファイリングに関する解析についての研究、  
及びデータベース、判定システムの開発

## サービス

### インフォコムサービス(株) <http://www.icos.infocom.co.jp/>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12 晴花ビル  
TEL.03-3295-5031 FAX.03-3295-5041

情報処理サービス

### SYSCOM(USA)Inc. <http://www.syscomusa.com/>

One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006  
TEL . 212-797-9131 FAX . 212-797-9132

ネットワークインフラSI

### 株式会社イー・ビー・エス

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-7-18 SOWA五反田ビル  
TEL.03-5475-2030 FAX.03-5475-2040

CD/DVDやアパレルを中心としたe-コマース

### 株式会社ドゥマン <http://www.demain-corp.jp/>

〒308-0826 茨城県筑西市下岡崎2-9-1  
TEL.0296-25-2920 FAX.0296-24-7318

食品関連商材を中心としたe-コマース

## ソリューション・セグメント

大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、医薬医療機関や文教、知的財産や特許等の分野に特化した自社開発パッケージ製品を提供しています。

また、様々な法人に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」、情報資産の高度活用に対応するデジタルコンテンツ管理ソリューション等も提供しています。

### エンタープライズ事業 (大規模企業向けITソリューション、SI)

帝人グループ、双日グループ、通信事業者グループならびにその他の大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、IT化に対応した最適なシステムの企画・開発・保守を行ない、顧客満足度の高いソリューションを提供しています。

### 製品・サービス事業 (分野に特化した自社開発ソフトウェアパッケージ等)

企業内の帳票やドキュメント等の情報資産を統合的に管理・活用するECM、知的財産管理、図書館、博物館、公文書系の業務・デジタルアーカイブ、コンタクトセンター、創薬研究等の様々な領域向けに、自社開発ソフトウェアパッケージをはじめとするITソリューションやITサービスを提供しています。

#### ■ ECM(企業内情報資産の総合的管理・分析・活用ITソリューション)

e-文書法等による情報のデジタル化を加速化する法規制の緩和や個人情報保護法等の法規制の強化により、益々重要度が高まるデジタルコンテンツの管理・活用・記録の領域に、コンサルティングからインテグレーション・運用までトータルサービスを提供します。

#### ■ 知的財産(特許管理/知的財産管理領域向けITソリューション)

政府(知的財産戦略本部)主導による知財創造・保護・活用施策や法整備の計画が明確になりつつあり、今後は大手・中小を問わず企業・大学・研究/開発機関等での知的資産権への関心から、特許管理システムの需要がより一層高まると考えています。これに対応する「総合知的財産ソリューション」を掲げ、コンサルティングからインテグレーション、運用に至るまでのトータルサービスを提供しています。

#### ■ デジタルアーカイブ(図書館、博物館、公文書系市場向けITソリューション)

大規模なドキュメント資源を有する官公庁や大学、図書館等を対象に、その電子文書の管理や検索等に係わるITソリューション及び関連パッケージソフトの販売を行っています。政府のe-Japan構想に連動した電子政府、電子自治体、電子図書館等のデジタルアーカイブ領域を得意領域としながら、官民を問わない総合ナレッジマネジメント・ソリューションを提供しています。

#### ■ ケム&バイオ(創薬支援/バイオサイエンス領域向けITソリューション)

創薬研究や生命系研究を支援するソフトウェア販売、システム構築や受託データ解析サービスを行っています。また、腸内細菌と病気の関係性を研究し、大腸がんリスク診断等の健康診断支援や健康食品の有効性評価等にも役立つ取組みを進めています。

#### ■ ソフトウェアサービス推進

(サービス事業化、コンタクトセンター向けITソリューション)

SaaSに代表されるソフトウェアサービス事業の育成をはじめ、緊急連絡/安否確認システムの提供のほか、オンデマンド型コンタクトセンターASPサービス「LACTEUS」や音声認識や感情解析などを取り入れた次世代通話録音ソリューションなどの音声関連ソリューションを提供しています。

## ヘルスケア事業 (医療/ヘルスケア領域向けITソリューション)

医療、ヘルスケア領域向けのパッケージソリューションの開発・販売やSIを提供しています。医療情報の高度活用による医療の質向上を目指し、医用画像、薬剤情報、患者臨床情報等の広範囲な医療情報を有効に活用したソフトウェア製品やソリューション、情報サービスを提供しています。

## GRANDIT事業 (完全Web-ERPパッケージ)

企業の販売管理や会計、人事などの業務の効率化や内部統制に対応する機能を充実した完全Web-ERP「GRANDIT®」を提供しています。多くの企業で構成するGRANDITコンソーシアムの参画各社に蓄積されたノウハウを結集して開発し、日本における各業界の様々な商習慣に適合させることで、短期導入とコストの削減を可能としました。

## サービス・セグメント

ディザスター・リカバリー機能の充実化を支援する、自社保有のデータセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンター・サービス「エクステーション」の提供のほか、携帯電話やPC利用者向けには、着信メロディや着うたフル®、携帯コミックス等のコンテンツ配信、CD/DVDやアパレル、スイーツ等を販売するeコマースサイトを展開しています。

## データセンター事業

自社保有のデータセンターで、システム運営の様々なニーズに的確にお応えするワンランク上のデータセンター・サービスを提供しています。1,000㎡を超える大規模スペースの提供に加え、ITサービスマネジメントシステムに関する国際認証(ISO20000)を有した信頼性の高いシステム運用によるITフルアウトソーシングサービスを提供します。

サーバやネットワークのセキュリティ対策を最強レベルに保つセキュアOS「PitBull」や、ネットワーク不正侵入防御システム「セキュアBoss」等の各種製品やソリューションで、企業にとって大切な情報資産を護るお手伝いをしています。

## ネットビジネス事業

モバイルインターネットやPCブロードバンドを活用し、コンテンツ配信やeコマース等のサービスを提供しています。コンテンツ配信では、着信メロディや着うたフル®等の音楽系コンテンツやコミック・写真集・小説等の電子書籍サービスを提供しています。また、CD/DVDやアパレル、スイーツ等を販売するeコマースサイトを展開しています。



## 新ソリューション・セグメント(計21件)

2007/05	インフォコムグループのログイットが、かんたん・高性能・安価な全文検索機能付きメールアーカイブ専用アプライアンス「ウチノBossメール」の新バージョンを発売
2007/05	インフォコムグループのホワイトパジャマが、ネットスイートとマーケティング分野で協業
2007/05	インフォコム、コールセンター / CRM業界における SaaS(Software as a Service)の普及を目的にオンデマンド型コンタクトセンターASPサービス「LACTEUS」を提供開始
2007/06	完全Web対応次世代・化合物データベース管理システムJ-STRIKETMを製品化、販売へ
2007/06	内部統制機能強化の対応における文書化作業の進捗管理ツール「内部統制ダッシュボード」の販売を開始
2007/06	インフォコムグループのログイットが、通話録音装置「Nicelog®」と連携した通話記録に対する「音声検索システム」の販売を開始
2007/07	インフォコムグループのインフォベックが、内部統制対応機能を強化した完全Web-ERP「GRANDIT®」の新バージョンの販売を開始
2007/07	インフォコムグループのインフォコム西日本が、CT検査撮影時における造影剤注入情報ゲートウェイシステム「CEエビデンスシステム」を販売開始
2007/08	インフォコムグループのログイットが、ネットワーク上のトラフィック管理を容易に実現する多機能で安価なネットワーク・ブローグ機器「LG-Probe」を販売開始
2007/08	インフォコム(株)のオンデマンド型コンタクトセンターASPサービス「LACTEUS」、コールセンター/コンタクトセンター分野におけるSaaSの普及を目的にプロブリッジ(株)と販売に関する基本契約を締結
2007/09	インフォコムグループのインフォベックが運営する「GRANDITコンソーシアム」にベニックスソリューションが加盟
2007/09	インフォコム、自社開発エンタープライズサーチ・ソリューションの販売を開始
2007/10	インフォコムとコグノス BIコンテンツ検索分野で協業強化 ~ 「Google検索アプライアンス」と「Cognos 8 Go! Search」の連携で技術検証と販売促進 ~
2007/11	インフォコムグループのイメージシティが、緊急連絡・安否確認システム「エマージェンシーコール」に新たなオプション機能の提供を開始
2007/11	完全Web-ERPパッケージ“GRANDIT®”を推進する「GRANDITコンソーシアム」にデルがゼネラルパートナーとして参画
2007/12	インフォコムと三井物産セキュアディレクション 日本版SOX法に対応する企業向け支援業務で提携
2008/01	創薬研究向けワーク・フロー型プラットフォームKNIME(ナイム)で活用する計算処理モジュール等の開発・販売に関する契約を締結
2008/01	インフォコムグループのイメージシティが、緊急連絡・安否確認システム「エマージェンシーコール®」の最新版ASPサービス開始
2008/01	インフォコム、ライフサイエンス関連企業向け占有型ASPドキュメント管理サービス「PharmaPortal®/AS」の提供を開始
2008/01	創薬研究向け「JChem Extensions」を販売開始、グローバルに展開 ~ ChemAxon社ライセンスとワーク・フロー型プラットフォーム「KNIME」(ナイム)を連携 ~
2008/02	インフォコム、完全Web対応 & ニューコンセプトの図書館業務システム「Hello Library (仮称)」の販売開始



## 新サービス・セグメント(計18件)

2007/04	インフォコムグループの株式会社ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」を「シーサーショッピング」に出店
2007/05	インフォコムグループのイメージシティがiモード公式サイトで携帯電話向け金融情報配信サービス「リアルタイム株価」を開始
2007/07	NTTドコモのi-mode向けに着うたフル@配信サービス「めちやうたフル」をスタート
2007/07	ITサービスマネジメントシステムの国際認証規格「ISO20000(ISO/IEC20000-1:2005)」を取得
2007/07	インフォコムグループのイメージシティがEZweb公式サイトで携帯電話向け金融情報配信サービス「リアルタイム株価」を開始
2007/07	インフォコムグループのイメージシティが商品先物取引に関する情報の音声照会ASPサービスを開始
2007/07	NTTドコモのi-mode向けに、オルゴール着信メロディ専門サイト「めちやオルゴール」を開始
2007/08	インフォコムとUCOMがデータセンターサービスにおいて協業を開始
2007/08	インフォコムグループの株式会社ドゥマンが展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストアYahoo!shopping店」が、Yahoo!ショッピング第5回お取り寄せグルメランキング「うまいもの王者決定戦」において、スイーツ部門第1位をはじめ5部門7商品(うち2部門は店舗として受賞)で入賞
2007/08	KDDIのEZweb向けに、オルゴール着信メロディ専門サイト「めちやオルゴール」を開始
2007/10	ソフトバンクモバイルのYahoo!ケータイ向けに着うたフル@配信サービス「めちやうたフル」を開始
2007/10	インフォコムが提供する着うた@サイト「めちやうた@」、着うたフル@サイト「めちやうたフル」でスペシャル企画を開始
2007/11	インフォコム、大容量データの高速送受信が可能なインターネット接続サービスを開始
2007/11	インフォコムグループの株式会社ドゥマンが、株式会社アクセス・パブリッシング発行の月刊誌「東京カレンダー」とのコラボレーションを開始
2007/12	インフォコムグループの株式会社ドゥマンが展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア」が、楽天市場2007年 年間ランキング総合3位、食品・スイーツ部門第1位を受賞
2008/01	インフォコムグループの株式会社ドゥマンが展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア」が、楽天市場の2007年ベストショップ「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2007」の食品ジャンル大賞を受賞
2008/01	株式会社イー・ピー・エスの株式の取得及び子会社化に関するお知らせ～インフォコムグループは、eコマース事業の拡大を図ります～
2008/01	新たなメディアとして注目されているデジタルサイネージ(電子看板)を活用する金融機関向け金融情報配信ASPサービス「e-FAIR Poster」の提供を開始

# 会社の概要、社名の由来



## 会社の概要

商号	インフォコム株式会社
本社	東京都千代田区神田駿河台3-11
設立	1983年2月
決算月	3月
資本金	15.9億円
売上高	326億円(2007年3月期 連結決算)
社員数	1,111人(2007年3月)
上場市場	JASDAQ
銘柄コード	4348(2002年3月上場)
発行済株式	144,000株
売買単位	1株

## 社名の由来

1983年設立の当社は、1987年にinfocomを商号の一部に用いることとしました。情報[information]と通信[communication]が別々の概念として考えられていた当時、新たに総合的なサービスをお客様にご提供したいと考えました。



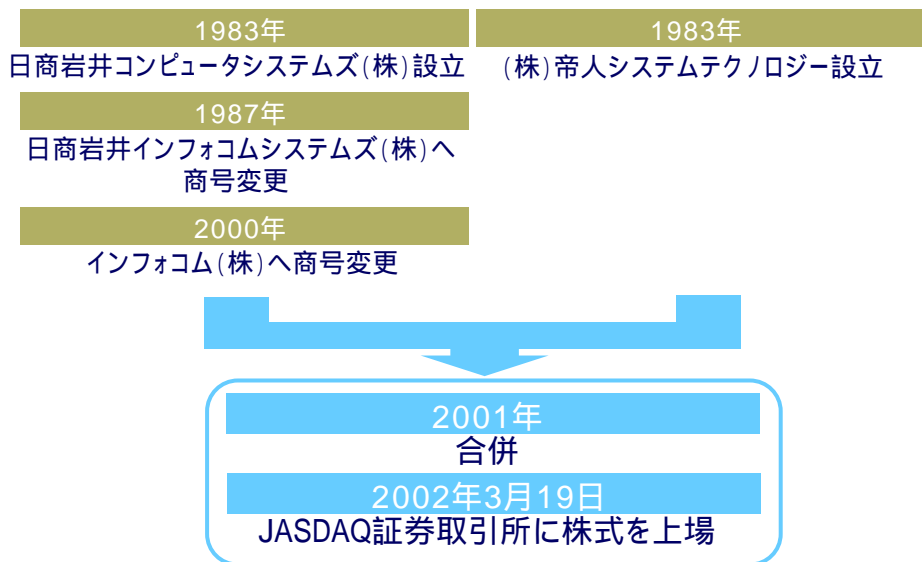
# 沿革、当社グループの通期及び四半期業績の特性



## 沿革

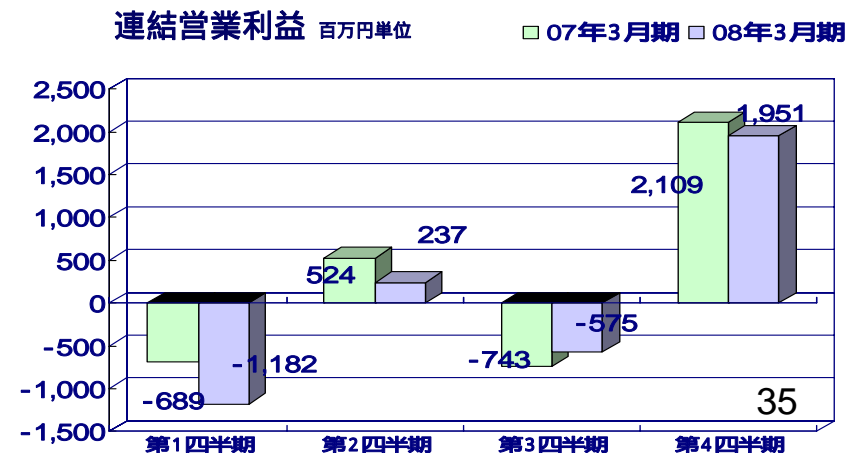
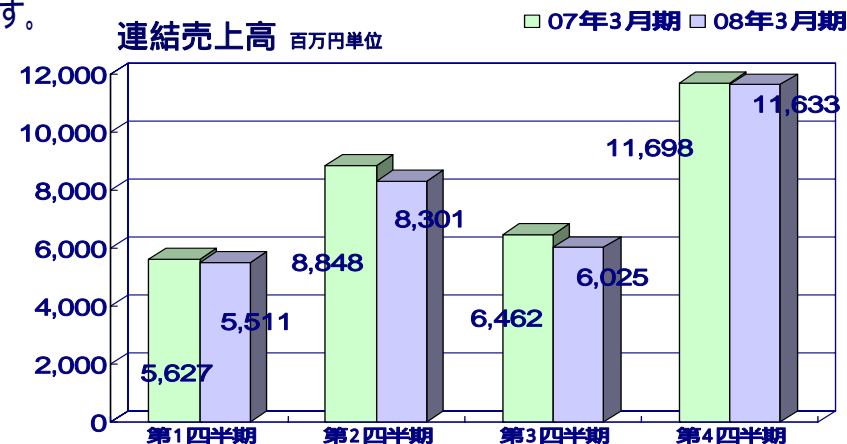
インフォコムは、1983年の設立以来、日商岩井株式会社およびそのグループ会社や、携帯電話事業者その他の一般企業などに対して、各種のITソリューションやシステム運用・コンテンツ提供などのサービスを提供してまいりました。

2001年4月に帝人株式会社の100%子会社で、ヘルスケア・ソリューション分野、電子帳票システムやナレッジマネジメントなどの自社開発ソフトウェアパッケージ製品などに特徴を有するシステムソリューションプロバイダーである株式会社帝人システムテクノロジーと、企業規模・業容の拡大、新規ビジネスによる成長加速、収益基盤の一層の強化などを目的として合併いたしました。そして、合併した同一事業年度にJASDAQ証券取引所へ株式を上場いたしました。



## 当社グループの通期及び四半期業績の特性

事業会計年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。こうした要因と高い主契約比率により、当社グループの業績は、売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。



# 連結財務データ(通期)



## 経営実績

(百万円)

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
売上高	33,146	32,164	31,353	32,637	31,473
売上高計上基準 変更後	30,087	29,867	31,353	32,637	31,473
営業利益	2,983	2,203	1,470	1,201	431
経常利益	3,044	2,265	1,392	1,222	479
当期純利益	1,632	957	531	1,596	228

2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。

## 財政状況

(百万円)

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
総資産	18,088	18,644	18,922	20,868	22,017
純資産	9,853	10,656	11,070	12,593	12,523

2006年3月期までの数値につきましては、従来の株主資本を純資産の欄に記載しています。

## キャッシュフロー

(百万円)

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
営業活動による キャッシュフロー	923	2,591	495	1,679	1,529
投資活動による キャッシュフロー	850	1,147	3,503	188	893
財務活動による キャッシュフロー	427	248	629	263	332

## 一株あたり情報

(円)

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
当期純利益	22,450.35	6,585.04	3,635.03	11,084.53	1,588.83
配当	2,200	1,200	1,200	1,600	1,600

2004年9月17日をもって普通株式1株を2株の割合で分割しております。

## 指標

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
自己資本 当期純利益率 (ROE)	17.9%	9.3%	4.9%	13.5%	1.8%
自己資本比率	54.5%	57.2%	58.5%	59.9%	56.2%

自己資本は、株主資本と評価・換算差額等を合算しています。

## その他

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
減価償却費(百万円)	837	727	969	1,196	1,313
従業員数(人)	825	871	1,098	1,111	1,188

# United Innovation info@comgroup

インフォコムグループは、  
ITの進化を通じて  
社会のイノベーションに貢献します。